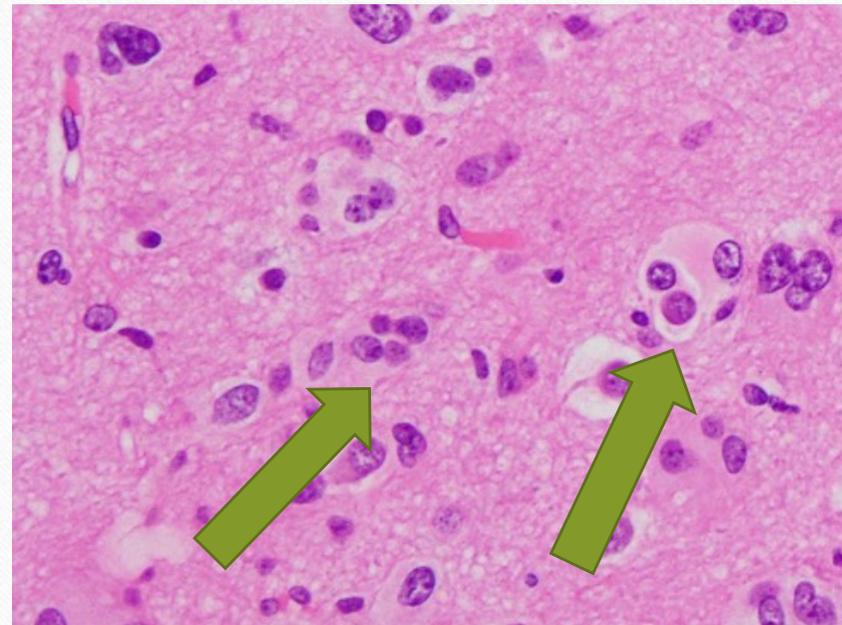


## 経過④ 生検・方針

開頭生検にて  
退形成星細胞腫の診断。

広範囲病変のため  
切除不能。

Best supportive careの方針。



# 退形成星細胞腫

- **概念・定義** 星細胞由来の腫瘍でびまん浸潤性細胞腫の中の一つ。
- **病因** がん抑制遺伝子異常やがん遺伝子の活性化で発生
- **治療** 外科的手術、放射線、化学療法
- **予後** WHO分類gradeⅢ（高悪性）に分類される。  
膠芽腫へと進展する傾向がある

# 本日の流れ

---

- 症例提示
- 認知症の一般的な診断プロセスについて
- まとめ

# 認知症は診断が大事

---

- 認知症の原因としてTreatable Dementiaは9%を占める。
- 治療可能なものを除外する必要がある。
- 特に非典型的経過の場合、変性疾患以外の可能性があり詳細な原因検索が必要である。

# 認知症は診断が大事

- 認知症の原因としてTreatable Dementiaは9%を占める。
- 治療可能なものを除外する必要がある。
- 特に**非典型的経過**の場合、変性疾患以外の可能性があり詳細な原因検索が必要である。



# Treatable Dementiaを疑う非典型経過

---

- 経過が急性→感染症、免疫性、中毒性、代謝性が考えられる
- 経過が亜急性→腫瘍性、感染症、免疫性が考えられる
- 若年発症である
- 局所神経徴候がある
- 歩行障害がある

# 認知症診断までのプロセス

スクリーニング



知能検査



Treatable Dementiaの除外



病型分類

## ③ Treatable Dementiaの除外

### 頭蓋内病変

- 脳腫瘍
- 硬膜下血腫
- 正常圧水頭症
- 頭部外傷

### 精神疾患

- せん妄
- うつ病
- てんかん

### 内分泌・代謝性

- 低血糖
- 甲状腺機能低下症
- ビタミン欠乏  
(ビタミンB12、ビタミンB1、葉酸)
- 重度貧血
- 尿毒症、肝性脳症
- 低Na血症、高Ca血症

### 感染症

- 神経梅毒
- HIV脳症
- 脳炎、髄膜炎

### その他

- 薬物中毒、アルコール中毒
- 薬剤性

## ③ Treatable Dementiaの除外

### 頭蓋内病変

- 脳腫瘍
- 硬膜下血腫
- 正常圧水頭症
- 頭部外傷

### 精神疾患

- せん妄
- うつ病
- てんかん

### 内分泌・代謝性

- 低血糖
- 甲状腺機能低下症
- ビタミン欠乏  
(ビタミンB12、ビタミンB1、葉酸)
- 重度貧血
- 尿毒症、肝性脳症
- 低Na血症、高Ca血症

### 感染症

- 神経梅毒
- HIV脳症
- 脳炎、髄膜炎

### その他

- 薬物中毒、アルコール中毒
- 薬剤性

## ③ Treatable Dementiaの除外

### 頭蓋内病変

- 脳腫瘍
- 硬膜下血腫
- 正常圧水頭症
- 頭部外傷

### 精神疾患

- せん妄
- うつ病
- てんかん

### 内分泌・代謝性

- 低血糖
- 甲状腺機能低下症
- ビタミン欠乏  
(ビタミンB12、ビタミンB1、葉酸)
- 重度貧血
- 尿毒症、肝性脳症
- 低Na血症、高Ca血症

### 感染症

- 神経梅毒
- HIV脳症
- 脳炎、髄膜炎

### その他

- 薬物中毒、アルコール中毒
- 薬剤性

## ③ Treatable Dementiaの除外

### 頭蓋内病変

- 脳腫瘍
- 硬膜下血腫
- 正常圧水頭症
- 頭部外傷

### 精神疾患

- せん妄
- うつ病
- てんかん

### 内分泌・代謝性

- 低血糖
- 甲状腺機能低下症
- ビタミン欠乏  
(ビタミンB12、ビタミンB1、葉酸)
- 重度貧血
- 尿毒症、肝性脳症
- 低Na血症、高Ca血症

### 感染症

- 神経梅毒
- HIV脳症
- 脳炎、髄膜炎

### その他

- 薬物中毒、アルコール中毒
- 薬剤性

# せん妄と認知症の違い

	せん妄	認知症
発症	急激	緩徐
経過	日内変動あり	変動少ない
	日差変動あり	進行性
持続時間	数時間～数日	年単位
幻覚	多い	少ない

## ③ Treatable Dementiaの除外

### 頭蓋内病変

- 脳腫瘍
- 硬膜下血腫
- 正常圧水頭症
- 頭部外傷

### 精神疾患

- せん妄
- うつ病
- てんかん

### 内分泌・代謝性

- 低血糖
- 甲状腺機能低下症
- ビタミン欠乏  
(ビタミンB12、ビタミンB1、葉酸)
- 重度貧血
- 尿毒症、肝性脳症
- 低Na血症、高Ca血症

### 感染症

- 神経梅毒
- HIV脳症
- 脳炎、髄膜炎

### その他

- 薬物中毒、アルコール中毒
- 薬剤性

## ③ Treatable Dementiaの除外

### 頭蓋内病変

- 脳腫瘍
- 硬膜下血腫
- 正常圧水頭症
- 頭部外傷

### 精神疾患

- せん妄
- うつ病
- てんかん

### 内分泌・代謝性

- 低血糖
- 甲状腺機能低下症
- ビタミン欠乏  
(ビタミンB12、ビタミンB1、葉酸)
- 重度貧血
- 尿毒症、肝性脳症
- 低Na血症、高Ca血症

### 感染症

- 神経梅毒
- HIV脳症
- 脳炎、髄膜炎

### その他

- 薬物中毒、アルコール中毒
- 薬剤性

# 薬剤性認知症の特徴

---

- Treatable Dementiaの中で最も頻度が多い
- 高齢者は薬物血中濃度上昇しやすい
- 合併症が多いため服薬数が増え薬物相互作用が問題になる
- 飲み忘れや飲み間違いがおこりやすい
- 特に抗精神病薬、ベンゾジアゼピン系睡眠薬、三環系抗うつ薬、抗パーキンソン薬、オピオイド系鎮痛薬、NSAIDs、ステロイド内服は注意が必要
- 第一世代抗ヒスタミンは抗コリン作用で意識障害をおこす可能性がある

# へき地病院での検査

---

## 【ルーチンでおこなう検査】

- 採血

末梢血、肝機能、腎機能、電解質 (Na、Caは最低限)、血糖値  
甲状腺 (TSH、FT4)、ビタミンB12、葉酸、ビタミンB1

- 頭部CT

脳腫瘍、正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫

病歴に応じて梅毒やエイズウイルス、血液ガスの追加をする。

# 認知症の一般的な診断プロセスおさらい

---

- 知能検査 → 正常範囲の記憶力、軽度認知症を除外
- 病歴聴取 → アルコール性健忘、せん妄、うつ病、てんかんを除外
- 薬剤調査 → 薬剤性認知症を除外
- 血液検査 → 貧血、電解質異常、甲状腺機能低下、ビタミン欠乏除外
- 頭部画像検査 → 慢性硬膜下血腫、正常圧水頭症など除外

# 本日の流れ

---

- 症例提示
- 認知症の一般的な診断プロセスについて
- まとめ

## まとめ

---

- 認知症の原因としてTreatable Dementiaは9%を占めており除外が必要である。
- 急性～亜急性経過である、若年である、神経症状がある、歩行障害がある場合は非典型的でありTreatable Dementiaの可能性を積極的に疑い詳しい精査が必要である。

# 参考文献

---

- 認知症ガイドライン2017
- 小田陽彦 科学的認知症診療 5Lessons Signe
- 河野 和彦 コウノメソッド認知症診療
- 厚生労働科学研究費補助金認知症対策総合研究事業 都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応 平成23～24年度総合研究報告書2013
- E B Larson, et al .Dementia in elderly outpatients: a prospective study. Ann Intern Med. 1984 Mar;100(3):417-23.